

# 第5学年国語科学習指導案

日 時 平成23年1月22日(火) 5校時  
児 童 5年2組 男20名 女20名 計40名  
指導者 五日市 敦美

## 研究課題

個の読みを広げ、深める国語科の学習指導の在り方

## 研究課題について(設定理由)

本学級は、読書好きな児童が多い。しかし、読む能力に個人差があり、学び合いにおける発言は、読み取りの得意な児童や、自分の考えを表現することが得意な児童に偏る傾向がある。これまでの授業を振り返ってみると、教師主導の展開になりがちで、活発に発言する児童との応答になってしまい、読みを全体のものにできないことが多かった。

そこで、「文学的な文章の読み取りのねらいや観点を明確にし、一人学びの際に確実に自分の考えをもてるようにすること」、「自分の思いや考えを表現する手立てとして音読や朗読を積極的に取り入れること」、「少人数や全体での学び合いの中で、自分の読みと友達の読みとを比べ、新たな発見や共感などをしながら読みを広げたり深めたりすること」で、一人ひとりの読む能力を高めることができるのではないかと考え、本研究課題を設定した。

- 1 単元名 作品を自分なりにとらえ、朗読しよう  
教材名 「大造じいさんとガン」(椋鳩十)(光村図書 5年)

## 2 単元について

### (1) 児童観

これまでに児童は、「読むこと」の学習として、「あめ玉」で、登場人物・時間・場所などの物語の設定や人物の気持ち、場面の変化を読み取る学習をしてきている。また、「のどがかわいた」では、登場人物の人物像や相互関係に気を付けて読む学習を行ってきた。これらの学習を通して、人物の役割・行動・位置関係など、正確に読み取るべきことを確かめながら読んだり、登場人物の性格や心情の変化などについて自分の体験を基に想像したりすることができるようになってきている。

学び合いで考えを交流することについては、「百年後のふるさとを守る」で、伝記に触れ、書かれている人物の生き方や考え方を自分と関連させながら読んだり、伝記を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする学習を行った。このことにより、友達と考えを交流することに進んで取り組む姿が見られるようになってきた。

読書については、毎日の読書タイムのほか、休み時間も意欲的に取り組んでいる児童が多い。しかし、目的に応じて選書したり、複数の本や文章を比べて読んだりする力については十分に身に付いているとはいえない。国語の授業では、登場人物の心情について想像したり、考えを交流したりすることに進んで取り組む姿がみられる反面、苦手意識をもち、意欲的に取り組むことが難しい児童も少なくない。そこで、友達との考えの交流を行い、共感や新たな発見などから、楽しみながら個の読みを広げ深めていき、児童一人ひとりの読む能力を高めていきたいと考える。

### (2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の内容にある「ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。」及び「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」である。また、単元の中核となる言語活動として「お気に入りの場面の朗読発表会を行うこと」を位置付ける。

本教材「大造じいさんとガン」は、ガンの頭領「残雪」と、狩人「大造じいさん」との間に繰り広げられる生存のための厳しい闘争を通じて、美しいもの、感動すべきものに素直に心を動かしている大造じいさんの人間味あふれる姿が、緊迫した雰囲気の中で生き生きと描かれている物語である。本教材では、場面の転換や物語の山場の部分などに、大造じいさんの行動を写す細かい描写が見られる。また、秋の空や日の光を中心とした自然描写、戦う残雪の行動描写が巧みであり、児童を物語の世界に引き込む作品であると言える。児童は、それらの優れた叙述を基に、大造じいさんの人物像や心情の変化を読み、速さや強弱、間の置き方などを工夫しながら、作品を自分なりにとらえ、朗読することができるものと思われる。

### (3) 指導観

第一次では、「お気に入りの場面の朗読発表会をする」という単元のゴールや学習の進め方などについて確認し、学習の見通しをもつとともに児童の学習意欲を高めることができるようにする。ここで作者・椋鳩十の他の作品を紹介し、並行読書に取り組むことで、同一作者の作品を比べて読み、共通する特色やテーマをとらえることができるようにする。また、全文を通読して物語の大まかなあらすじをとらえるとともに、前書きから大造じいさんの人物像をとらえ、第二次への学習へとつなげたい。

第二次では、文章全体を四つの場面に区切り、それぞれの場面での大造じいさんの会話、行動を表す描写や情景描写を手がかりに、大造じいさんの人柄や心情の変化を読み取っていく。その際、残雪の行動や様子、大造じいさんの残雪への見方、残雪の呼称の変化にも着目させたい。そして、文章から読み取ったことを基に、その場面の朗読の仕方の工夫について考え、学習のまとめとして朗読を行う。

第三次では、四つの場面の中で自分のお気に入りの場面を選び、朗読発表会を行う。友達の朗読を聞き、工夫について感想を交流し合うことで、表現の仕方について考えを広げることができるようにする。

### 3 学習指導目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

○文章から読み取ったことや自分なりに感じたこと、考えたことを基に、朗読しようとする。

#### (2) 読む能力

◎自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をするとともに、人物の心情や場面の情景描写などの優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。(読 ア・エ)

#### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○語や語句の使い方、文や文章の美しさに対する感覚について関心をもつことができる。(言イ【カ】)

### 4 指導計画

(「読むこと」8時間)

次	時	学習内容
一	1	・単元のねらいを知り、朗読発表会を開くという学習の見通しをもつこと。 ・全文を通読し、初発の感想を書くこと。
	2	・物語のあらすじをとらえること。 ・前書きから、大造じいさんの人物像をとらえること。
二	3	・残雪に対して感嘆の声をもらしたときの大造じいさんの心情を読み取り、朗読すること。
	4	・もう少しのところで残雪に逃げられてしまった大造じいさんの心情を読み取り、朗読すること。
	5 (本時)	・敵である残雪に手をのばし、助けたときの大造じいさんの心情を読み取り、朗読すること。
	6	・残雪が飛び去っていくのを晴れ晴れとした顔つきで見守る大造じいさんの心情を読み取り、朗読すること。
三	7	・お気に入りの場面を選び、朗読発表会の準備をすること。
	8	・朗読発表会を行い、感想を伝え合うこと。

5 本時の指導

(1) 目標

- ・敵である残雪に手をのばしたときの大造じいさんの心情から、大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取り、工夫して朗読をすることができる。

(2) 展開 (5時間目 / 8時間中)

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇評価
導入 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なぜ、大造じいさんは敵である残雪を助けたのだろうか。</div> 3 課題解決の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少しのところまで残雪に逃げられてしまった大造じいさんの心情を読み取り、朗読の仕方を工夫したことを想起させる。</li> <li>・3の場面の様子や出来事を全体で確認するとともに、大造じいさんの会話・行動や、情景描写、残雪の行動描写から、大造じいさんの心情を読み取っていくことを確認する。</li> </ul>
展開 35分	4 学習場面を音読する。 5 学習課題を解決する。 (1) 敵である残雪に手をのばしたときの大造じいさんの心情を読み取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">一人学び</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述を基に大造じいさんの心情を想像して書く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">グループでの交流</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と考えの共通するところや違うところを交流し、読みを広げる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">全体での交流</div> (2) 読み取ったことを基に、朗読の仕方を考える。 (3) ペアで朗読を聞き合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残雪が来るまでの大造じいさんの心情が分かる文を見つけながら音読させる。</li> <li>・小屋の中でガンの群れを待っているときの大造じいさんの心情や、ハヤブサがガンの群れを目がけて飛んでくる様子を見ている大造じいさんの心情について確認し、課題の解決にせまれるようにする。</li> <li>・「いきなり敵にぶつかっていきました。」から、敵同士であるにもかかわらず、おとりのガンを守ろうとする残雪への驚きや感動、「いかにも頭領らしい堂々たる態度のようでありました。」から、残雪の頭領としての誇り高き姿に感動する大造じいさんの心情を読み取ることができるようにする。</li> <li>・読み取った大造じいさんの心情の変化が聞き手に伝わるような読み方(速さ、強弱、間、語尾の上げ下げなど)を考えさせる。</li> <li>・友達の読み方から学び、よいと思ったところを伝え合わせる。</li> </ul> ◇敵である残雪に手をのばしたときの大造じいさんの心情から、大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取り、工夫して朗読をすることができたか。(ノート・発表)
終末 5分	6 学習の振り返りをする。 7 次時の学習についての見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習で身に付いた力について振り返らせる。</li> <li>・次時の学習では、残雪が飛び去っていくのを晴れ晴れとした顔つきで見守る大造じいさんの心情を読み取り、朗読をすることを確認する。</li> </ul>